

◆ 令和元年8月九州北部地域の大雨の被災に伴う第37回災害ボランティア活動として、9月28日（土）福岡県八女郡広川町長延において復旧活動を実施しました。

第37回災害ボランティア活動として、筑後信用金庫有志5名が福岡県八女郡広川町長延において、床下浸水した個人住宅の床下泥撤去作業を実施しました。

広川町は前回（9月14日）の活動に続き2回目の活動となりました。今回も智徳地区と川瀬地区及び長延地区の3軒においてボランティアのニーズがあり、災害ボランティア参加者18名で活動しました。

作業内容は、当金庫5名（うち女性2名）が長延地区のグループ8名に入り、10：00過ぎから15：00頃まで、床下の泥撤去作業をしました。

被災家屋は、床下が約60cmから90cmと比較的高くかつ広いことから、活動しやすく当金庫5名を含む7名が床下へもぐりました。床下では、まだ湿気をおびた泥を草かき鎌で表面を削り、テミに入れて外へ運び出すものでした。14時40分頃ほぼ終了しました。依頼者の方からは、果物などお気遣いいただきありがとうございました。皆おいしくいただきました。

15時頃より雷を伴う激しい雨となり、ボランティアセンターへ戻った後、使用した道具を清掃したのち解散となりました。

ボランティアへ参加された皆様およびスタッフの方々お疲れ様でした。

< 現地付近での集合写真 >



<活動状況ほか>

